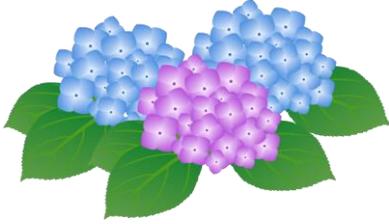




平成29年 7月15日発行

第 104 号

事務局 〒169-0051 東京都新宿区
西早稲田2-18-23スカイエスタ507
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
http://www.seishineisei.gr.jp/



〈目 次〉

日本精神衛生学会第33回大会のごあいさつ……………	1
日本精神衛生学会第33回大会のご案内……………	2

日本精神衛生学会第 33 回大会のごあいさつ

大会長：加藤純（ルーテル学院大学）

「日本精神衛生学会の大会は楽しい！」何回か参加しての感想です。

学会の大会という堅苦しいイメージがありましたが、日本精神衛生学会の大会は、もちろん真面目なプログラムが組まれています。合間合間にいろいろな出会いがあって、会話が弾み、「楽しい学会」でした。

今年の第 33 回大会も、日本精神衛生学会の良さを活かした「楽しい学会」にしたいと思っております。

これも個人的な感想ですが、日本精神衛生学会の魅力の一つは実践を大切にしていることだと思います。大会は、研究者が研究成果を発表するだけでなく、様々な立場の人が集まって実践について対話をする場になっています。

学会の特徴をさらに発揮していく一歩になることを願い、「実践と研究の良い循環を目指して」を今回の大会テーマとしました。

初日冒頭の大会シンポジウムで「実践と研究の良い循環を目指して」私たちにできることを考えることから始め、2日目は、学会誌『こころの健康』が実践と研究の循環に果たしている役割と一緒に考えます。また、学会として取り組んでいるメンタルクライシスへの支援や、被害者支援、引きこもりの理解と支援について講義をお願いしました。

10月7日（日）と8日（日）の大会では、対話と参加の機会が多くなるように、シンポジウムやワークショップ、演題発表を織り交ぜています。

ご案内が遅くなり大変に申し訳ありませんでしたが、演題発表の申し込みは7月31日を第1次締め切り、8月20日を第2次締め切りとします。ぜひ、積極的にお申し込みください。

10月9日(月)には、第一線での実践と研究に携わって来られた優れた講師を招き、スーパービジョン、家族支援、質的研究をテーマにポストワークショップを開催します。

プログラムの詳細や申込方法などは大会専用のウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/seishineiseigakkai-33rd-2017/>

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本精神衛生学会第33回大会のご案内

大会テーマ 「実践と研究の良い循環を目指して」

開催日：2017年10月7日(土) ～ 10月8日(日)

2017年10月9日(月・祝日) ポストワークショップ

会場：ルーテル学院大学(東京都三鷹市大沢3-10-20)

大会長：加藤純 副大会長：鉦鹿健吉 菅野恵 実行委員長：福島眞澄

プログラム

10月7日(土)

- 10時00分 大会長講演 「実践と研究の良い循環を目指して：対話と参加」 加藤 純
10時30分 大会シンポジウム「実践と研究の良い循環を目指して：私たちにできること」
シンポジスト：菅野恵(和光大学)
太田幸治(クラブハウス二俣川)
森田麻登(植草学園大学)
司会：島田正亮(杏林大学)
指定討論者：元永拓郎(帝京大学)
コーディネーター：菅野恵(和光大学)
- 12時20分 (学会理事会)
13時30分 ポスター発表P1 口頭発表A1
13時30分 講演1「若者の社会的孤立」

高塚雄介(明星大学名誉教授)

- 15時00分 講演2「被災者・被害者の支援から学ぶ」
小泉典章（長野県精神保健福祉センター）
- 15時00分 ワークショップ1「つながりと安心感を作るファシリテーション」
池上正樹（ジャーナリスト&ひきこもりフューチャーセッション「庵」運営スタッフ）
- 17時45分 懇親会（～19時45分）

10月8日（日）

- 10時00分 ポスター発表P2 口頭発表A2
- 10時00分 MCRT（メンタルクライシス・レスポンスチーム）企画
- 12時15分 学会総会・表彰式
- 13時30分 ポスター発表P3
- 13時30分 学会誌企画「実践と研究の対話：学会誌と論文掲載の意義」
影山隆之（大分県立看護科学大学）
中西三春（東京都医学総合研究所）
草海由香里（上越教育大学）
山田愛子（日本医療大学）
- 13時30分 ワークショップ2「人との出会いの中で何によってお互いが変わるのか」
鉅鹿健吉（メンタルヘルス工房）
富田富士也（子ども家庭教育フォーラム）
ジェームズ・サック（ルーテル学院大学）
福島眞澄
- 16時10分 閉会式

10月9日（月・祝日）

- 10時～16時 ポストワークショップ-S（研修時間5時間・休憩1時間）
「ソーシャルワーク・スーパービジョン」 福山和女（ルーテル学院大学） 定員25名
- 13時～17時 ポストワークショップ-F
「児童福祉領域における家族支援」 衣斐哲臣（和歌山大学） 定員：25名
- 13時～17時 ポストワークショップ-T
「複線径路・等至性アプローチ入門：実践とつながる質的研究の可能性」
荒川 歩（武蔵野美術大学） 定員：20名

参加費

- 大会 事前申込 学会員3,000円、非学会員4,000円、学生／院生2,000円
当日申込 学会員5,000円、非学会員5,000円、学生／院生2,000円
※ 事前申込は9月22日まで（参加費振込は9月28日まで）です。
- 懇親会 学会員／非学会員／学生／院生 共通 5,000円
ポストワークショップ 学会員／非学会員／院生 共通 5,000円

参加申し込み

- 1) 下記の事項を記して 2017seishin@gmail.com までメールを送信してください。
 - ・ 参加者氏名
 - ・ 参加資格種別（学会員／非学会員／学生／院生のいずれか一つ）
 - ・ 懇親会に参加する場合は「懇親会参加希望」と明記してください。
 - ・ ワークショップ申込の際は、参加希望のワークショップの記号を明記してください。
- 2) 参加費を郵便局で青色の振込用紙またはATMを使って下記の口座まで送金してください。振込手数料はご負担ください。
 - ・ 口座記号番号 00100-6-420719
 - ・ 口座名称（漢字） 日本精神衛生学会第33回大会
 - ・ 口座名称（カナ） ニホンセイシンエイセイガツカイダイサンジュウサンカイ
- 3) 記載された個人情報は、大会の運営に関わる範囲で用います。大会以外の目的には使用しません。第三者に提供しません。

演題発表申し込み

- 1) 演題発表は次の2種類です。
 - ・ 口頭発表（発表15分＋質疑応答10分＝合計25分）
 - ・ ポスター発表
縦120センチ×横80センチ×2面を用意します（済みません。実は窓です）。
- 2) 筆頭発表者は本学会会員に限ります。
- 3) 発表申込書をダウンロードして必要事項を記載しメールで申し込んでください。
第一次申し込み締め切り：7月15日
発表枠に余裕がある場合は、第二次申し込みを受け付け、8月15日に締め切ります。
- 4) 『大会プログラム・抄録集』に掲載する原稿を8月31日までに送信してください。
- 5) 4と別に後日、学会誌掲載用の事後抄録原稿（400字以内）をご提出いただきます。詳しくは改めてお知らせします。

研修ポイント

大会への参加は臨床心理士資格更新のための2ポイント、口頭発表は4ポイントを取得できます。シンポジスト、司会者などのポイントについては<http://fcbcp.or.jp/jigyounaiyou/jigyou-1-2/> を参照してください。

ポストワークショップ-Sへの参加は、資格更新のための2ポイントを取得できます。

ポストワークショップ-FおよびTは、資格更新のためのポイントを取得できません。

問合せ・連絡先 2017seishin@gmail.com